

2014年は“高ボラティリティ”相場

～ 昨年のアベノミクス効果による上昇相場は、今年どう変わるのかを展望 ～

昨年のアベノミクスの流れに乗って、資金を投資信託等のリスク資産に投入された方、投入しようと思いつつタイミングが掴めなかった方、また、これから投資に取り組みたい方、年初からの市場の乱高下で今後どう対応したらよいのか お困りの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

FP サロンさいたま新都心では、下記の通り「2014年は“高ボラティリティ”相場」と題し、セミナーを開催いたします。この1～2年の市況の動きと、投資対象や具体的なご提案をさせていただきます。使用する資料や、運用についての考え方はFPオリジナルで、金融機関では決して聞けない内容だと確信しております。必ずや皆様に喜んでいただけるものと思います。是非ご参加下さい。
“高ボラティリティ”というのは変動が激しいという意味です。

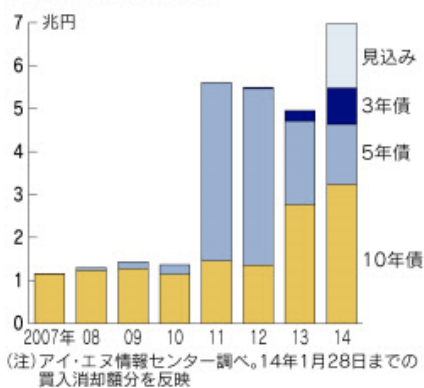
記

1. 日時：平成26年3月29日(土) 13:30～16:30
2. 会場：大宮ソニックシティ 8階 808号室(大宮駅西口下車 徒歩3分)
さいたま市大宮区桜木町1-7-5 <http://www.sonic-city.or.jp/modules/access/>
3. 講師：金融機関でデリバティブやIRを推進された経験のある方を予定
4. 主催：首都圏ファイナンシャル・プランニング技能士会 FP サロンさいたま新都心
株式会社 VLIP
5. 参加費 2,000円(お二人様まで、お誘い合わせのうえお越しく下さい)
※講師料、会場費等に充当

お問い合わせ・お申込みは、FAX、Eメール、電話のいずれでもお受け致します。

【ご参考 (2014/2/24 19:47 日本経済新聞 電子版 抜粋)】

個人向け国債の償還額



株、個人マネー流入のカギ握る3つの「埋蔵金」 証券部 野口和弘

.....20年以上掲げている「貯蓄から投資へ」の号令。だが、約1600兆円の個人金融資産の過半は預貯金に眠っている。だが市場では「2014年は本当に『貯蓄から投資へ』という流れが動き出すかもしれない」(大手運用会社)と注目されている。株式や投信に流れ込む可能性がある「埋蔵金」は3つあるようだ。..... 第一の埋蔵金は、今年が大量償還のピークとなる「個人向け国債」だ。... 第二のマネーは変額年金、最後はマネー・リザーブ・ファンド(MRF)だ。.....合計すると20兆円の規模の投資マネーとなる.....

総額20兆円の埋蔵金は、すぐには動かないだろう。だが小さな水流がやがて大きな川をつくるように、株へ投資へと流れる個人マネーの水流を太くすることができれば、14年の株式相場は強力な下支え役を得ることができるかもしれない。